協働事例１３

協働で実現！　現代によみがえる“ふるさと歴史絵巻”

			市町村・地域	胎内市
分　野	まちづくり、団体運営・活動支援		協働の形態	補助
事業名・テーマ	胎内市の歴史人物「板額（はんがく）御前」を活用したまちづくりイベント「中秋の名月・板額の宴」			
協働の主体	行　政	胎内市教育委員会生涯学習課		
	ＮＰＯ等	板額会	法人格	□有　■無
事業実施時期	平成１５年度～			
事業費（決算額）	８００，０００円			
事業概要	胎内市の歴史人物を活用したまちづくりを進めるため、地域づくり団体「板額会」では、市からの補助を受け、毎年９月下旬ごろの中秋の名月に合わせ、「中秋の名月・板額の宴」を開催している。場所は市の史跡「奥山荘歴史の広場」を使用し、かがり火で雰囲気を出すため、夕方から夜間にかけて行っている。 具体的な内容は以下のとおり。 ① 武者行列・・・参加者を募り、宿場町の面影が残る商店街大通りを通過しながら会場まで歩く。親子、スポ少剣道部、市外からの歴史ファン、警察官などの参加があった。 ② 芸能舞台・・・新発田広域圏内で活躍している団体に出演依頼。太鼓、獅子舞、能楽、雅楽、ごぜ唄、舞踊、ヨサコイソーランなど。 ③ 演劇「板額御前物語」上演・・・シナリオ作成、音響・照明、役者、すべて市民による手作りの寸劇。板額の生涯をわかりやすく感動的に紹介。 ④ 板額御前コンテスト・・・２年に１度、ヒロイン・板額御前役を演じる女性を選出する。平成２０年現在、第5代目３名が活躍中。			
協働に至る経過（協働事業を行ったきっかけ）	事業企画・提案者	□行政　■ＮＰＯ等		
	○平成 13 年 10 月、旧中条町では歴史人物「板額御前」が地元の山城で奮戦してから 800 年目にあたることを記念し、姉妹都市とも連携して「板額御前奮戦 800 年祭」なるイベントを開催した。主催は旧中条町であるが、青年会議所・ＮＰＯ・体育協会・各種委員会など市民団体が各部門を担当した。その他ボランティアを募り、武者行列、講演会、歴史ドラマのビデオ作成などを行った。 ○イベント終了後、プロジェクトチームは解散となったが、これを機会に活動を続けたいという有志が集まり、新たに市民団体「板額会」を設立。 ○旧中条町は、　①補助金を出す　②事務局として公民館職員を配置する　という協力体制をとることにし、活動がスタートした。			
役割分担	行　政	イベントに対する補助金申請など行政手続きのサポート、行政機関との連絡調整（協力要請など）		
	ＮＰＯ等	事業の企画運営、広報活動、会員募集		

協働の成果	事業を市民団体が主体で実施とすることで、多種多様な人の意見を反映させて事業展開することができた。また、市民側の豊かな発想、民間企業の仕事の進め方（ノウハウ）、幅広いネットワークなど、市民側の優れた要素が取り入れられた。逆に、事業実施に伴う、市民にはわかりにくい法的手続き、警察や議員への協力要請などは行政が受け持ったため、運営がスムーズに行うことができた。 なにより、市民側と行政がお互いの交流を深め、情報交換するよい機会になった。そして、そこで得たノウハウやネットワークを仕事だけでなく、行政側の職員も一市民としての活動などで使うことができ、思わぬ相乗効果となった。
課　題	行政手法としては、市民団体をある程度育成したら自立を促し、行政の負担比率を軽減していくというのが最近の傾向であるが、ボランティア会員には行政の人間もおり、ある程度自主で運営できている板額会ではあるが、以下の課題もある。 ① 補助金以外の収入源を見つけるのは難しい ② このような事業は、本来行政が率先して実施しなければならない事業であるのに、民間に押し付けて無責任ではないか、という市民側と行政の捉え方の違いがある ③ 事務局は公的施設の方がよいという考え方もある（認知度・安全性が高い）

担当者が語る

成功のポイント

市民の自由な発想　＋　行政が煩雑な手続きをサポート　という、それぞれの得意分野を活かした協力体制が成功の鍵だった。その際、行政は市民のアイデアが奇抜であっても頭ごなしに「そんなの無理！」と反対せず、検討すること。また、市民も行政のサポートに対して「またお役所仕事して・・・」と否定的にならず、きちんと手続きを踏むノウハウを覚えること。事業目標というより「夢」を掲げると、皆が同じ気持ちで頑張れるようである。そこに至るまでのプロセスに違いがあっても問題なし！事業を義務や負担と感じると長続きしないので、楽しむことが一番のポイントと考えている。

「板額の宴」武者行列

「板額の宴」鏡開き

協働した団体の概要

●団体名　板額会

●設立時期　平成１４年度　　●会員数　３０人

●活動地域　胎内市内全域

●目的　板額御前と彼女が活躍した史跡を市民共有文化財産と考え、それらを活用することでまちの活性化、市民の交流をはかる。

●主な事業

・歴史イベント「中秋の名月・板額の宴」

・歴史学習会　　・パンフレット作成

・スキーカーニバル（観光課）チューリップフェスティバル（農林水産課）交通安全・防犯キャンペーン（警察）など、依頼に応じて出演・衣装貸し出しなどの協力